

開催報告 [Peace Now! Nagasaki 2020]

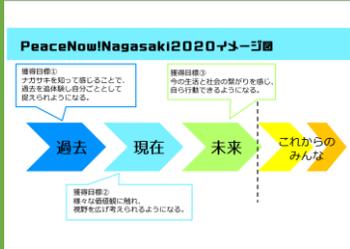
概要

日程：2020年11月14日（土）、15日（日）
場所：長崎市内（東横インホテルの会議室使用）

参加者

岩手大(1)、東京大(1)、愛知教育大(2)、奈良女子大(1)
神戸高専(1)、長県大佐世保(2)、熊本大(4)、実行委員会
(6)、連合会・ブロック(8)

計7会員26名（運営含む）



PeaceNow!Nagasaki2020+3-2日目

獲得目標①: ナガサキを知って感じることで、過去の歴史を振り返り、未来を展望できるようにする。

獲得目標②: 様々な価値観に触れ、視野を広げ考えられるようになる。

獲得目標③: 今の生活と社会の繋がりを感じ、自ら行動できるようになる。

過去 → 現在 → 未来 → これからのみんな

2日間の学びに、獲得目標に、伝えたい想いを全部込めました。一緒に学んでいきましょう！

01

戦後75年の節目の今年 長崎で何を考えますか？

開会式～アイスブレイキング

開会式では、実行委員長・企画局長から企画趣旨の説明がありました。現地ですでにできたことに感謝し、長崎の地で感じ、考えていきたいと確認しました。挨拶のあとは、自分にとっての平和とは？を言語化し、それぞれの平和観を共有しました。**Peace Now! Nagasakiの2日間で平和を考えるきっかけ**とするために、多くの交流を行いました。

02 「最後の世代」である私たち 想いを継承できますか？

【企画①-2】被爆体験講話

最初の時間のあとは「被爆体験講話」です。小学6年(11歳)のときに被爆された山脇佳朗さんにお越しいただきました。被爆当時の長崎やご家族の様子など、その場の情景が浮かぶくらい詳細にお話をいただきました。海外の方に直接自分で伝えたいとの想いから、独学で英語を学ばれたそうです。**私たちにできることは何があるのでしょうか？**



戦争のリアルを知り、非常に生々しかったがそれゆえに肌でその恐ろしさを感じた。(熊大1年)

03 日常の中にある 75年前の記憶に触れる

【企画①-3】フィールドワーク

山脇さんのお話を聞いたあとは、長崎市内の被爆遺構を巡るフィールドワークの時間です。**市内を歩き街の中に溶け込んでいる歴史に触れることで、過去ではなく、今もすぐそばにある**ことに気が付きました。感染対策も徹底しつつ、全身でナガサキを感じる事が出来ました。終了後も、お互い感じたことを共有し、より長崎を深めました。



長崎の普段の暮らしの中に、原爆投下時の姿が共存していること。(岩手大2年)

04 戦争は被害だけじゃない！ ロープレで当時を追体験。

【企画①-4】「戦争」のリアルを自分ごとへ

この時間は、第2次世界大戦における日本の加害面を知る・長崎の戦後の復興を知るという2つの内容を扱いました。被害面に意識が向きがちですが、「戦争は被害と加害が繰り返されるもの」という認識は広がりました。また、復興期における当時の人になりきったロープレでは、背景が異なる人たちの葛藤を知れました。**自分が知らない知識や価値観に触れることも大切です！**



人それぞれ考えがあり、さまざまな考えを知り自分の視野を広げるためにも意見交換は大切だと思った。(熊大2年)

05 自分とは異なる考えに触れる。 あなたはどっち？

【企画②】「今」を考える時間

2日目は、「今」を考える時間からスタート。初日では過去から現在を考えましたが、この時間は現在も残る問題を扱いました。核兵器はあっていいのか・原発は日本に必要なのか、**自分自身の考えだけでなく反対意見を考え、班員と交流することで、様々な価値観に触れる**ことが出来ました。皆さんも周りの誰かと話してみてもいいかなですか？



解決することは難しいが、他人事のようにするのはなく、一人ひとりが考えていく必要がある。(佐世保1年)

06 社会の中で生きている、 目を向けて行動しよう！

【企画③】これからを見つける時間

この時間は、長崎や戦争のことに限らず広く社会に目を向けるために、気になるニュースやSDGsについて扱いました。最後の時間ということで、2日間で考えたこと、感じたことをまとめ、**これからの自分の生活を具体的に考えました**。皆さんも「私たち大学生を取り巻く社会問題」に**目を向ける**ことから、一歩ずつ行動していきましょう！



この2日間で学んだこと、思ったことを身近な人たちに伝えたいです。(奈良女2年)

55 そう、きっかけなんです。

戦後75年の今年。

どんな未来を作っていきますか？
想いを受け取り、どのように伝えていきますか？

75年前から現在まで継承されてきたものを今度は自分たちが継承する番だと感じました。(熊大1年)

+A 戦後75年 未来へのバトン

企画局長：さかもとからみなさんへ

Peace Now! Nagasaki2020に参加いただきましてありがとうございました！今回のセミナーで私たち実行委員は少しでもみなさんの感じ方や行動に影響与えられたと信じています。それを受け取った皆さんの行動がまた違う誰かの心を動かすはずですよ！自分を信じて平和のバトンをみんなで繋げていきましょう！

実行委員長：けーたからみなさんへ

今年度のPN!Nに参加していただき本当にありがとうございました。今年だからこそ、改めて平和について考えることが出来たのではないのでしょうか？“あくまで行動のきっかけに”ということで私からはバトンを渡しました。皆さんも自分ができる一歩を踏み出してみませんか？



撮影時のマスクを外しました！
3人の写真です！

事務局次長：はやとからみなさんへ

この情勢の中、全国の皆さんとナガサキと一緒に平和について考えることができて良かったです！ナガサキで学べたことにまずは感謝を、そしてもっと多くの人と平和について考えていけると嬉しいです。